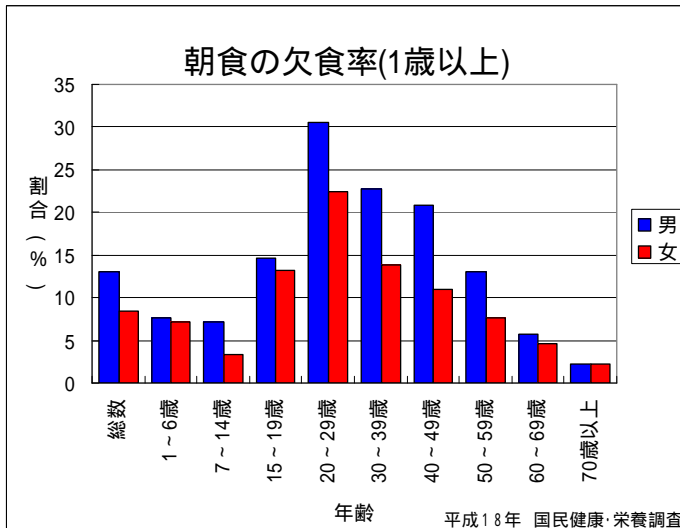


ミールステーション～あなたの第二の実家作り～

最近、一人暮らしの若い世代を中心に朝食の欠食や、栄養の偏った食事を摂る人が増加しています。下のグラフからも、特に20～40代の食生活が退廃していることが分かります。



この現状の主な原因には・・・

- ・忙しくてまともな食事を作る時間がない。
- ・一人だと食事を作るのが面倒で、外食ですませてしまう。
- ・サプリメントや栄養ドリンクの普及で、食べる習慣がない。
- ・・・といった項目が挙げられます。



成人病などが大きな問題となっている今、このままでは**日本人の健康が危ない！！**

しかし、コンビニやファーストフード店の多い現在は、栄養バランスのとれた食事をするのが難しくなっており、個人の力だけでは改善できません。そこで、解決策として“ミールステーション”を提案します。“**ミールステーション(Meal station)**”とは“食事の駅”という意味です。その名の通り、この施設の主な機能は食事を提供すること。その他、地域の交流の場としても重要な役割を担います。

主な特徴とその効果

～その1～

駅に隣接して建て、安価で栄養バランスのとれた食事を提供します。



© 2005 TOSHIBA CORPORATION

- ・ 駅に隣接した立地条件であるため、JRや地下鉄で通勤・通学する人達に効率良く食事の提供ができる。
- ・ きちんとした食事をとることによって、食生活が改善される。

～その2～

庭付きの大きな一軒家のような外観で、従業員には地域の高齢者を採用します。



- ・ 定年退職後の再雇用が見込める。また高齢者は、同年代のみならず、若い世代とも関わる機会を得ることができ、生き生きとした生活をおくれるようになる。
- ・ 若者は、建物の雰囲気や、親世代の人達が世話をしてくれることによって実家に帰ったような気持ちになり、親しみやすい。
- ・ 日中は地域の人達の交流の場としても利用可能。
- ・ 共働きの両親が帰宅する迄の間の鍵っ子の遊び場にもなる。地域の人達の目が届いているので安全。



～その3～

敷地内に家庭菜園を設けます。

- ・ 食材のコスト削減。
- ・ 家庭菜園を、高齢者に趣味として楽しんでもらう。
- ・ 地域の小学生等のフィールドワークの場としても有用。



～その4～

地域の人々の交流の場としての機能も果たします。



- ・ 近所づきあいの少ない一人暮らしは、ミールステーションに通っているうちに地域の人々とコミュニケーションがとれるようになり、顔見知りが増える。
- ・ 知らない土地に一人で住んでいる人にとって、実家のような存在のミールステーションはとても心強く、高齢者も若者も、お互い良い話し相手ができる。

このように、ミールステーションは単に食生活を改善するだけでなく、地域の人々の間に家族のような関係を築くことによって地域コミュニティを形成させ、犯罪発生率の低下、高齢者の孤独死の防止にもその効果を発揮します。また、この他にも利用法によっては無限の可能性を秘めていると言えます。あなたのまちに第二の実家を作りませんか？